

平成30年6月26日

## 第7号 (仮称) 厚田小中学校 設立準備委員会だより

発行 委員会事務局 (石狩市教育委員会総務企画課)

このたよりでは、厚田区の統合新設校(義務教育学校)の平成32年度の開校に向けて、設立準備委員会で検討している内容や教育委員会、学校、PTAなどの動きをお伝えしています。

今号では、5月31日に開催した第8回会議の内容をお知らせします。

### 新委員さんの紹介

地域協議会の役員改選、教職員の異動によって、次の3名の方が新しく委員となりました。

築田敏彦さん(厚田区地域協議会会長)

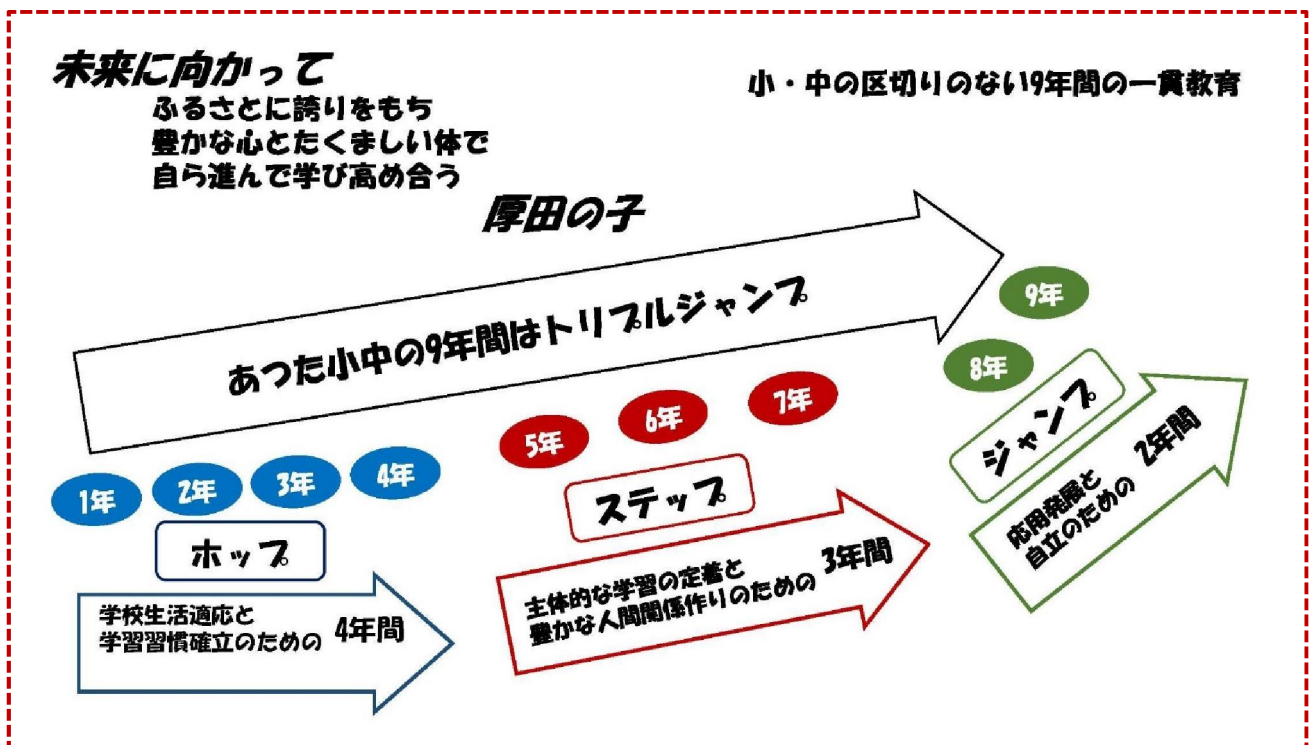
石橋浩明さん(厚田小学校校長)

伊東優子さん(望来小学校校長)



新校舎のイメージ図

### 義務教育学校9年間のイメージがまとまりました



(仮称) 厚田小中学校は、新しい学校制度である義務教育学校として、「未来に向かって、ふるさとに誇りをもち、豊かな心とたくましい体で、自ら進んで学び高め合う、厚田の子」の育成をめざす9年間の一貫教育を進めます。

義務教育学校では、9年間を見通したカリキュ

ラムを編成するために、学年段階のまとまりとなる学年ブロックを大切にしています。

(仮称) 厚田小中学校では「ホップ・ステップ・ジャンプ」の3ブロックで、小・中の区切りのない一貫教育「トリプルジャンプ」の教育活動を進めていくことが、設立準備委員会で承認されました。

## ホップ（１・２・３・４年）

### 学校生活適応と学習習慣確立のための４年間

- ・現在、厚田区の各学校では、少人数のメリットを生かしたきめ細かな指導が、学習習慣の定着・確立に成果をあげています。
- ・現在、小学校で行われている複式の学習形態では、先生が他の学年を指導している間に、子どもたちは自ら学習を進める必要があるため、課題や役割を自覚し、主体的に学ぶ姿勢が定着しています。
- ・学校生活に慣れながら学習習慣を身に付ける「ホップ」の段階では、子どもの不安を取り除き、安定した生活と学習を可能にするため、一人の先生による一貫した指導という学級担任制が効果的です。

## ステップ（５・６・７年）

### 主体的な学習の定着と豊かな人間関係づくりのための３年間

- ・「ステップ」のブロックからは、段階的に教科担任制を取り入れ、一人ひとりの学習のつまづきを未然に防ぎ、専門の先生の指導による興味・関心の高まりをめざします。
- ・教科担任制を取り入れることで、実質的に複式から単式の指導形態になります。これにより、一人の先生が一つの学年を指導することができ、１時間途切れることのない学習が可能になり、この段階から急増する「理論的・抽象的な理解が必要な学習内容」を、確実に定着させることができるようになります。
- ・「ステップ」のブロックは、より良い人間関係を構築し、自尊感情や自己有用感を培うことが求められる時期です。また、教科担任制を取り入れることによって多様な人間関係のひろがり期待できます。
- ・７年生が、学習規律や学ぶ姿勢などで見本となり、リーダーシップを発揮することによって、５・６年生の学習や生活の向上が期待できます。

## ジャンプ（８・９年）

### 応用・発展と自立のための２年間

- ・９年間のゴールとなる大切な学年ブロックが、「ジャンプ」の８・９年です。
- ・応用・発展の力を育てるためには、課題の解決に必要な思考力・判断力・表現力を育成する学習が大切です。

- ・また、自立のためには、進路を見据え、多様な人間関係を築くことによって、自分らしい生き方を考え、確かな自己実現を図る活動を経験する必要があります。
- ・９年生は最上級学年としてリーダーという自覚を持ち、８年生は９年生の姿を見て次年度に最高・最終学年を迎える上での目標や自覚を持つことができます。

## 学年ブロックを生かした異学年交流の充実

- ・（仮称）厚田小中学校は各学年が少人数であるため、学年や複式学級の枠を越えて、ブロックで活動する場面が多くなります。
- ・３つの学年ブロックを設け、各ブロック内の学年差を小さくすることで、ブロック内の異学年交流を充実させることが期待できます。

## 厚田の教育を発展させる一貫教育

道内屈指の長い歴史を持つ厚田の学校を支えてきた、約140年にわたる厚田の教育は、学校とともに住民の熱意と貢献が創りあげた誇りある歴史です。「トリプルジャンプ」という9年間を見通した一貫教育と、開校と同時に導入される「厚田型コミュニティ・スクール」は、長年にわたって培われてきた厚田の教育を、将来に向けて発展させる枠組みとなります。

## 新しい校名を公募しています！

〔対象〕厚田区内在住の方で、応募は一人一点。

児童生徒の応募もOKです。

〔応募期限〕7月11日（水）まで

〔応募方法〕所定の応募用紙。（※応募箱は、厚田区各学校と厚田支所に設置）。または、校名、考えた理由や思い、住所、氏名、年齢、電話番号を書いたものを、電子メールかFAX、郵便で。

〔選定方法〕応募された校名案は、設立準備委員会で協議され決定します。（本年9月の市議会の議決を経て正式に決まります。

（仮称）厚田小中学校設立準備委員会事務局

（石狩市教育委員会 総務企画課内）

電話 72-3169 / FAX 75-2276

E-mail [soumu-k@city.ishikari.hokkaido.jp](mailto:soumu-k@city.ishikari.hokkaido.jp)

第9回会議は、7月17日（火）に開催します。